

報告者 部会長 ものづくりスペースみんななかま竹内 仁

日 時 2013年10月3日(金)

場 所 城陽市福祉センター 研修室

出席者：(有)ファンシシステム(1名)、(株)ナプラス(1名)、就労促進授産支援ネットワーク(1名)、宇治支援学校(1名)、あんびしゃ(1名)、魁(1名)、はびねす(1名)、あつぷ(1名)、城陽作業所(1名)、野の花(1名)みんななかま(3名)、(参加者数13名)

オブザーバー 福祉課(1名<オブザーバー>)

欠席者：、庭一造園(1名)、宇治支援学校(1名)、あつぷ(1名)

検討課題

1、福祉情勢・就労に関わる情報の共有 2、福祉事業所フェア実施評価 3、2013年度就労部会の取り組み(企業見学等)

【議事録】

1、福祉情勢・就労に関する情報の共有

- ・優先調達法情報の共有。(別紙資料)
- ・差別禁止法、府条例の進行状況について情報共有。

2、福祉事業所フェア実施評価

- ・事業所フェア実施報告書(別紙)
- ・評価の確認(議論抜粋)

①反省点・参加者の呼びかけについて

- \*在校生の保護者への周知をもう少しするべきだったかもしれない。
- \*フェア開催に関して、平日より休日の方が、市民や保護者に関しては来やすいと思う。
- \*利用者確保の必要性があるところが多いので、呼びかけを山城北圏域全体に広げることでもいいのでは。

②フェアの目的について

- \*今回は「福祉事業所フェア」だったので、福祉を知ることが中心であった。今後は、「就労部会」というものの原則を考えていくべき。他市の就労部会では、いかに企業就労につなげるかということのみでやっているところも多い。
- \*フェアの目的には「販路確保」「啓発」「就労」とあるが、どこを一番大事にするか、次年度は協議が必要。

③新しいフェアの形について

- \*一般企業にブースをそれぞれつくってもらい、福祉事業所と個別にやりとりできるようなフェアもいいと思う。
- \*以前同友会が文教短大でやっていた、1ブースディスカッションのような企業の情報発信をしてもらえるような場を、福祉事業所向けにできたらいいのではないか。
- \*来年のフェアは、一般企業と福祉事業所が「お互いを知る」だけでなく、「一緒に作っていく」ことができればいい。

3、会社、福祉事業所の見学

- ・見学実施日程調整、11月上旬頃で進めていく。
- ・見学企業の候補として、(株)アクス、(株)ナプラス